

再生可能エネルギーの利用について

市長 短信
H28年10月25日

市内には、多くの再生可能エネルギー資源が眠っている。
こうした本市特有の資源を活用することで、豊かな自然環境を保全するとともに、産業の活性化を図る。

1 瑞梅寺ダム小水力発電

■九州初となる発電所（平成28年11月11日 開所）

- ▶瑞梅寺ダムの放流水を活用した小水力発電
 - ・ダムの放流管を分岐し、発電用導水管を経て水車で発電する構造
 - ・ダムの共同事業者（福岡県、福岡市）の協力により平成25年度から事業開始
 - ・県営ダムの放流水を活用した市町村の小水力発電は、九州で初めて。

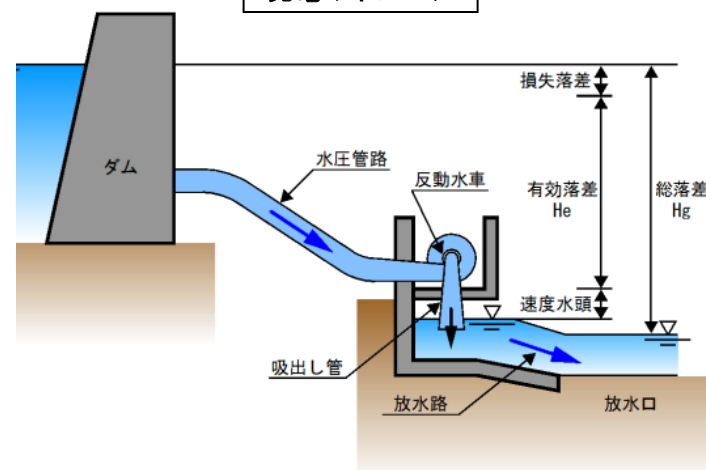
■事業及び発電所の概要

- ▶発電量：約67万4千kWh/年（一般家庭の約190戸分）
- ▶Co2削減量：約358トン/年
- ▶総事業費：2億3千2百万円（うち、1億円は県補助金※を活用）
※福岡県エネルギー利用モデル構築促進事業費補助金

■電力の活用

- ▶発電した電力は、全量売電（売電収入：約2,290万円/年）
- ▶今後20年間で約2億円の収益が見込まれる（事業費は約8年間で回収予定）
- ▶売電益は、公共施設等の再生可能エネルギーの導入推進に活用する予定。

発電のイメージ



2 糸島市バイオマス産業都市構想

■糸島市が「バイオマス産業都市」として選定

- ▶平成28年度の選定地域として糸島市が選ばれる。
 - ・選定都市としては、県内で3番目。
 - ・今後、構想実現に向けて関係府省の施策の活用が可能に。

■構想の概要

- ▶家畜排泄物や未利用材等、本市の資源を生かし産業を創出。農山漁村の活性化を図る。
 - 【活用例】・家畜排泄物 ⇒ バイオガス発電、液肥など
 - ・未利用材や竹 ⇒ チップ燃料、土壌改良材など
- ▶暮らしの土台となる環境の整備・保全を進め、豊かで持続可能なまちを目指す。



【バイオマス産業都市とは】

原料収集から製造・利用まで、経済性が確保された一貫したシステムを構築し、地域の特色を生かしバイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまち・むらづくりを目指す地域。関係7府省（内閣府、総務省、文科省、農水省、経産省、国交省、環境省）が共同で選定する。